

問 10 その他ご意見（自由記載）・・・・・・・・ 39 件

【エネルギーについて】

この先使用していくエネルギーとして安心できるのは再生可能エネルギー。逆に不安を感じるのは原発。使用済み核燃料の廃棄方法が確立しないまま使っているのはとても恐ろしい。

【地球温暖化について】

次世代に良い環境の地球を、残すことはとても大切なことだと思う。地球温暖化により世界中で災害が起きているのは知っている。しかし、地球温暖化を抑えるために自分が何をすれば良いのかわかっていない人も多いのではないだろうか？そのために、各自が何に気をつけて、どうしていくのがよいのかを国や行政が発信してほしい。

脱炭素は、地球にとって重要な事だと思っていますが、色々高すぎて、家の上のソーラーも、買うお金と、稼げるお金を考えたら、あまりつける意味もなく、エコカーも、それまでのガソリン代を費やすくらい高い。協力したいと思っても、経済的に難しいです。

脱炭素を推進できるかどうかは地球を未来に残したいかどうか考えている人ではないと無理だと思います。今を生きている我々一般人の中で未来の世代のことを考えている人はさほど多くない気がするので、そもそも脱炭素や SDGs に興味を示していないはずです。脱炭素を進めることで生活のし辛さが増えるようなことがあれば逆の意味で注目を浴びて反感を買うでしょう。地球規模で行われている政策ならもっとメディア等で大々的に取り上げるべきだし、一過性の流行り言葉になるくらいなら中途半端に目標は掲げないほうが得策です。本気で日本は 2050 年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しているのか、一般人にできることはなんなのか。まだお役所仕事の領域を抜け出せていないような気がします。

電気代などのインフラは生活に直結するため、値上がりは非常にきつい。地球と次世代のことを考えるなら、脱炭素を進めるべきとは思いますが、現実的には難しいところがあると思う。

太陽光発電は各家でできることなので補助してでも進めるべきだと思う。また、近所の農地が放棄地になっているがそういうところを積極的に太陽光パネルを置くとかすべきだ。福部駅の近くに湿地のようになって、農耕ができないところがある。見た目も悪くますます過疎になる予感がする。各家庭においては、蓄電の性能の良いものが開発されれば、自分の家の電気は、自分の家でとなりうると思う。

・脱炭素社会実現は現状の環境変化や今後未来に対しての非常に重要な懸案事項だと認識はできる。個人一人の認識、取組みは実現への一歩だとも思う。その認識、取組みを取り入れ、さらに向上させるためにも情報の提供、実行に注力すべきと思う。

・目標、社会的実現に対しての具体性ある取組みも始まったばかりの段階で、具体性ある策定もないのが現状である。安定的需給、産業経済発展、そして環境、生活となによりも安全性、技術等と連携した策定も重要、難しいことだ。

・社会実現のための先導役立場として、公を認識し、より現状を理解しさまざまな情報、認識を取り入れ、弾力的対応もできる目標、策定と実行を期待する。

温室効果ガスを減らすために電気の使用量を減らす。身近に出来ることから始める。パソコン、テレビ、見ない時は電源を切る。エアコンの設定温度を控えめに。近場は歩きで車の使用を控える。他に何

<p>か有ったら教えて下さい。</p>
<p>水素発電はなぜ進まないのか、教えて欲しい。</p>
<p>本市も第3期鳥取市環境基本計画により、再生エネルギー等の利用促進、環境教育の拡充に取り組んでいくことが決定されており、この計画進行管理のため、環境基本計画等推進本部や環境審議会が設置されているとのことですが、市民の関心と理解向上のため、定期的に計画の進捗状況や国、県の方針状況等広報に加えて情報提供いただければと思います。</p>
<p>電気代が去年と今年では同じkW使用していても今年の方が高いです。水道代、ガソリン、食品等々の値上がりもしています。全然関係無いかもですが鳥取県は他県に比べて給料が安い為、家計を圧迫して生活も年々厳しくなりつつあるなど感じています（給料から引かれる税金も高いと感じます）。若桜町は地元で使える商品券のような物を全世帯全員に一万円ずつ配布されたそうです。鳥取市もあれば助かると思いました。税金を集めるばかりではなく還元して貰いたいです。</p>
<p>掲げられても、ピンと来ない。それを実現するために私たちが日々できることは何ですか？皆が少しずつ協力してそれを実感できるなら、実現した時の喜びを皆で分かちあえる。小学生でもわかるように教えてください。</p>
<p>地球温暖化、気象災害など、私たちが学生の頃はそこまで感じてなかったことが、今現在は身近に迫り、今後どうなるか危機感さえ覚えます。 個人でできることは微々たるものですが、地球のために未来のために努力し続けていきたいと思っています。</p>
<p>環境を大切にしたいエネルギー利用については、理解はできてもいろいろと難しい課題があると思います。太陽光発電はたいへん有効な方法ですが、最近では老朽化した太陽光パネルの処理問題が出始めています。また、蓄電池にも寿命があり、古い蓄電池の処理についてもいろいろと問題があります。 当面は「環境に優しいエネルギー」でも、設備・機器の製造や使用後の処理によってどれほどの環境負荷がかかるのか、広い視野と長いスパンで見えていかないと、本当に環境問題の解決になるのかどうかはわかりません。 「脱炭素」のためには、できるだけ自然エネルギーをうまく使いながらも、環境負荷の少ない方法を考えていく必要があります。鳥取市としても、全国各地域と共に様々な取り組みを共有しながら、より良い方法を追求していくことになるのかと思います。 一方で、世の中が「便利さの追求」を続ける限りエネルギーの需要は増加し続けることを考えれば、人々の生活を見直し、適切（より質素）な生活様式をめざすことも大切なのかと思います。それは、「エネルギー問題」と「環境問題」を解決するための、「持続可能な生活様式」ということになるでしょう。</p>
<p>孫の世代を考えると、その頃、地球はどうなっているのだろう、と心配している。 スマホはなく、その他も今より少し不便かもしれないけど、人が暖かく、懐かしい昭和の時代に戻ればいいのかなあ、なんてふと思う。戻れるものなら。 太陽光発電は、検討したこともあるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ★冬場、山陰では日差しが少ない ★設置、維持管理費用と発電量 ★屋設置に根を穴をあけるとか、そのリスク <p>以上のことより、設置をやめた。</p>

<p>なんとなく耳にした事のあるワードで、これを機に調べてみたいと思いました。</p>
<p>個人では節水や節電、庭木や花壇など植物を増やすなど心がけて生活したいと思う。食物トレイ、卵のパック、お菓子、商品の包装にプラスチック使用が多すぎており、減らされている傾向もない。もっと減らしていくべき。ストローぐらいしかりサイクル化されているものが思い浮かばない。もっと企業も努力してほしい。</p>
<p>いつも前向きなアンケートリクエスト、ありがとうございます。 環境、フトコロに優しく安全で安定的なエネルギー源が見つかる事を願って応援しております。</p>
<p>環境を考える時にいつも真っ先に思い浮かぶのは我が子達の未来がどうなっているのだろうかという不安です。これから先、安心安全な生活が保障される為にできることを1人ひとりが心掛けていけたら、よりよい未来への希望がもてると考えます。 我が家は身近な面では車を電気自動車に買い替えたいと計画しています。車なし生活は何かと不便な鳥取県なので、もっと公共の交通の発展があってもいいものではとも思います。</p>
<p>脱炭素を推進している人・組織・行政も本当のところは知らないのではないかと思います。 世の中の動きだからとかニュースで流れているとか、SDGS だからとか個人に向けて説明しても効果が見えてこない気がする。特に日本では。</p>
<p>再生可能エネルギーに関心はありますが、生活の面では経済、安全、安定を兼ね備えた電力供給を望みます。ある程度の負担は仕方ないと思いますが、負担が少ないことを望みます。</p>
<p>脱炭素と言えど原子力には頼りたくありません。</p>
<p>自動車のEV化が進んでいますが、以前設置されていた充電設備がなくなるなど、市内のインフラが整備されていません。EVの普及は脱炭素へ向けた重要な取組みの一つだと思いますので、早急な対策を講じて頂きたい。</p>
<p>脱炭素に少しでも貢献できたらいいなあと日頃から気にかけています。</p>
<p>理解しているようでまだまだ勉強不足でした。これを機会に色々、勉強したいと思います。講演会、何か参考になる内容があればお知らせください。宜しく願います。</p>
<p>地球温暖化であったり、世界情勢が不安定の中、ひとりひとり、環境問題に取り組むべきであり再生エネルギーなど環境に特化したエネルギー化を進めるべきだと思います。</p>
<p>環境問題や昨今の異常気象を思うと再生可能エネルギーへの転換が喫緊の課題。安定的な供給や料金の問題を早急にクリアしないと中々前には進まない。原子力に頼る政策に方向転換した今の政府の姿は安易に見える。強引でも電気自動車への推進をする他国のように、環境や人民のために、企業や関係団体に忖度しない本物のリーダーが現れて欲しい。</p>
<p>実生活に基づく呼び掛けをして、広く脱炭素の対策が進むようにしてほしい</p>
<p>エネルギーに関しては興味があるものの、日々の忙しさにかまけて学習できていません。日本近海で、今のエネルギー源に代わる資源がないか海底調査中という記事をみたことがあります。現在の調査状況や、判明していることを、何かの媒体でみるのができたらありがたいです。</p>
<p>もともと、小学生の時地域のエコクラブに参加していたこともあり、このような環境問題につながるような内容には少し興味があります。しかし、世の中に目を向けてみると、コロナ禍になり、環境問題が大々的に話題となることが以前より少なくなったのではないかと個人的には思っています。地球にやさしい生活が将来的に考えても大切で、その生活を実現させるためにどんなことが必要なのが全</p>

く分からないというわけでもないのため、ごみの分別だったり、こまめに電気を消したりなど、意識でどうにかなることは気をつけていますが、太陽光パネルや電気自動車など、経済面を考慮すると、実際に行動に移せないのが現実だと思います。

今ある公共施設を活かした発電・蓄電技術や検討が必要と思われる。

治山・砂防堰堤＝水力発電

幹線道路＝橋梁との段差を活かした発電

風力発電、太陽光パネルの耐用年数、処分費用、処分用地など大事なことがあまり議論されていないようにみえます。いろいろ進めるのは歓迎ですが、生産、設置、廃棄までがワンセットだと考えているので、最後の廃棄のところまでしっかり議論、対応してから推進することを希望します。最後の廃棄の部分を後回しにすると、必ず問題が起きると考えています。

持続可能なエネルギー資源を利用して、継続的に電力供給をして欲しいです。

再生可能エネルギーを推進する際に、利用者に負担を求める前に事業者の価格算定は正しいのか、また事業者が利益を内部留保により温存しているのではないかなど精査することが必要である。

脱炭素の必要性は、この異常な暑さや水害等により実感しているところです。10年前はまだ、のん気だったなと思います。自分にできることは何かと考え、車での移動をできるだけ減らし、近場は徒歩にしたり、ゴミを減らしたり…。屋根に太陽光発電システムできないかと問い合わせもしましたが、重量に耐えられないとの返答でしたから、こちらは断念しました。

一人一人にできることはちっちゃなことですが、それでもみんなが頑張れば大きな力になるのではないのでしょうか！まずは、情報提供していただき、このままでは大変だと思って行動に移せるようになるといいなと思います。

ゴミの減量や分別、エコバッグの使用等はかなり定着してきていますから、鳥取市報に情報載せてくださったおかげもずいぶんあると感じています。何度でも繰り返しつく情報提供をお願いします。

温暖化に苦しむのは目に見えているので、設備投資や、熱を蓄えにくい新素材の推進など必須と思います。屋根に太陽光発電システムを設置しているが、鳥取市は蓄電池の補助金がないので、発電している間しか使えません。昼間に発電した電気を夜間に使えたら環境負荷が減るのではと思います。

脱炭素、最近、よく聞く言葉ですが、重要性とそれに向けての取り組みはどうかと言えば知ってるようで知らない感じである。普段から関心をもつこと、出来ることから意識して取り組んでみたいと思う。

まだわからない部分があります。これから少しずつ考えて見ようと思います。

「脱炭素」については、知っているが具体的にどのように行動すれば良いかが分からない・見えない。鳥取市は、都会と比較して、公共交通の便が悪いので、車を使わざるを得ない。

時々、思うのは、買い物で購入する商品。商品の包装は、圧倒的にプラごみになる。脱炭素に、意識的に取り組もうとしても、世の中に流通する物品・物販（配送）は理想とはかけ離れているように感じる。…かと言って、「エコ商品だから値段がやや高い」という商品は買いたくない。消費税増税、物価高、低賃金で、市民の生活はいっぱいいっぱいです。脱炭素は、市民に努力を押しつける前に、まず行政に頑張ってもらいたい。